



CBDCOP13サイドイベントの集合写真

## (特非) ラムサール・ネットワーク日本

# ラムサール条約・生物多様性条約を通した、 水田決議に基づく生物多様性向上のための 実践活動の地球規模の推進

プラットフォーム  
助成

2年目

国際会議

全国集会・地域交流会の  
開催回数

3回

英文の水田決議の  
フォローアップの配布

300部

活動の全体目標に  
対する達成度

66.6%

### 課 題

日本国内及びアジア、アフリカ、中南米諸国での稲作と水田の生物多様性の重要性に関わる意識とゴールの共有化を図り、水田の生物多様性向上の主流化を達成すること。

### 活動内容

●CBD/COP13事前会合のSBTTA20・SBI1(カナダ)で「田んぼの生物多様性向上10年」を、具体的事例として提案。●国内外のNGO等と連携し、COP13(メキシコ)でサイドイベント主催、水田の生物多様性向上を働きかける。●UNDB Dayへの参加。●国際会議(ICEBA2016,小山市)で「田んぼ10年分科会」開催。●JICA研修で来日したコスタリカ関係者と国際ネットワーク化について交流。



集会参加者が訪れた  
初雁の里・川越の水田

### 今後の課題

今回のラムサール条約会議開催国(UAE)の会議に向けて、中東(イスラム文化圏)との連携を意識して、ネットワークを拡大することが求められる。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

全国集会、地域交流会の開催を通じて田んぼ10年プロジェクトの参加数が増加した。CBDCOP13にて水田決議フォローアップ(英語資料)を300部配布して、関心を持つコンタクトポイントを得た。

### 工夫

田んぼ10年プロジェクトの参加申し込み用紙を、簡易なものにして、多くの人が参加しやすくなるよう工夫した。